

日本酒で乾杯カートン

酒パックリサイクルとその再生品の認知を高めるために、全国各地で続々成立する乾杯条例の動きに呼応して、日本酒で乾杯カートンを制作しました。制作にあたっては制作原資を募る目的で、酒促進協会メンバーに対して1口2万円の協賛金の募集を呼びかけました。

結果、協賛社 16社 22口 計440,000円の協賛金が集まりました。

ご協力ありがとうございました。また、ご協力ありがとうございます。また、ご協力ありがとうございます。また、ご協力ありがとうございます。

社およびエコ酒屋登録酒販組合、乾杯条例関連地区酒販組合等にサンプルカートンを発送、購入を呼びかけたところ、熊本・愛知・千葉・京都・鳥根・大阪・福島・静岡等の酒販組合から問い合わせや購入申し込みなどをいただきました。

販売代金は、酒パックリサイクルの活動協賛金としてプールして活用していく予定です。各社ぜひぜひ日本酒で乾杯カートンをご活用ください。また、よろしくお願ひ申し上げます。

酒パック再生紙から生まれた「酒パックのリサイクル」を推進します。

昨年12月に京都府議会で、「日本酒で乾杯」条例が可決、今年1月に施行されました。その後全国各地に「乾杯条例」施行の動きが広がり、佐賀県鹿島市・兵庫県加東市・福島県南会津町・広島県広島市等々「乾杯条例」が成立している自治体は、現在までに24自治体にのぼると言われています。

酒パックリサイクル促進協議会では、日本酒造組合中央会内の「日本酒で乾杯推進協議会」のご協力を得、日本酒の需要振興による地域活性化と同時に酒パック再生品の拡大と普及を目指し、酒パック再生紙で日本酒で乾杯1.8Lカートンを制作その活用を図ることで酒パックリサイクルを推進します。

酒造開飲に熱心な企業や、酒蔵売店、酒蔵記念館さらには各地の酒販店等で、ディスプレイや1.8Lビン商品の持ち帰り用などで積極的に、ご使用いただけますようお願い申し上げます。



1.8Lカートン 60本/1ケース
販売価格¥3,900(送料・税別)

酒パックリサイクル促進協議会便り

Vol.9 平成26年4月25日 発行 発行：酒パックリサイクル促進協議会

酒パックリサイクル促進協議会 第20回 東京会議



小野会長

平成26年3月28日(金) 東京都港区の日本酒造会館に於いて、国税庁酒税課齋藤調査係長、アサヒビール株式会社経営企画本部社会環境課石崎課長、森永乳業株式会社L1紙パックリサイクル研究会遠藤座長らをオブザーバーとして迎え、24団体・企業34名の参加を得て、第20回酒パックリサイクル促進協議会を開催いたしました。

事務局および各専門部会からの酒パックリサイクルに関する取り組み報告に続き、印刷工業会液体カートン部会・環境委員会委員長横尾氏よりご講演(下段にて紹介)があり、活発な意見交換がなされました。



国税局 酒税課 調査係長 高橋 隆彦



紙製容器包装 リサイクル 推進協議会 川村 専務

条例施行を行った自治体リスト ◆平成26年3月7日現在日本酒造組合中央会調べ

1	北海道	富良野市	まずはふらのワインで乾杯条例
2		旭川市	旭川市地酒の普及の促進に関する条例
3	秋田県	仙北郡美郷町	美郷町日本酒による乾杯を推進する条例
4		大館市	秋田杉の器で地酒による乾杯を推進する条例
5	山形県	山形市	やまがた県産酒による乾杯を推進する条例
6		山形市	山形市日本酒で乾杯を推進する条例
7	福島県	南会津町	南会津町乾杯条例
8	茨城県	笠間市	笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例
9	栃木県	栃木県	とちぎの地元の酒で乾杯を推進する条例
10	埼玉県	秩父市	秩父市乾杯条例
11	千葉県	神崎町	日本酒で乾杯を推進する条例
12	石川県	白山市	白山市白山菊酒等の普及の促進に関する条例
13		金沢市	金沢の食文化の継承及び振興に関する条例
14	石川県	いしかわの酒による乾杯を推進する条例	
15	愛知県	常滑市	常滑焼の器に注いだ地酒による乾杯を推進する条例
16		半田市	半田市知多酒で乾杯を推進する条例
17	三重県	名張市	伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例
18		伊賀市	伊賀市乾杯条例
19	京都府	京都市	京都市清酒の普及の促進に関する条例
20		与謝野町	与謝野町地酒の普及の促進に関する条例
21	奈良県	奈良市	市の清酒の普及の促進に関する条例
22	和歌山県	海南市	海南市地酒で乾杯を推進する条例
23		田辺市	田辺市紀州梅酒による乾杯および梅干しの普及に関する条例
24	兵庫県	加東市	加東市日本酒による乾杯を推進する条例
25		三木市	三木市日本酒による乾杯を推進する条例
26		西宮市	西宮市清酒の普及の促進に関する条例
27		明石市	明石市の伝統産業である清酒による乾杯の普及の促進に関する条例
28		伊丹市	清酒発祥の地伊丹の清酒の普及の促進に関する条例
29		新温泉町	新温泉町日本酒の普及の促進に関する条例
30		姫路市	日本酒の振興及び日本酒を活用した地域観光の促進による地域の活性化に関する条例
31		美方郡香美町	香美町今日の良き日、日本酒で乾杯条例
32		篠山市	丹波篠山ふるさとに乾杯条例
33	岡山県	真庭市	地酒で乾杯を推進する条例
34		赤磐市	赤磐市の地酒で乾杯を推進する条例
35		高梁市	高梁市産の清酒の普及促進に関する条例
36	広島県	東広島市	東広島市日本酒の普及の促進に関する条例
37		三次市	三次の酒で乾杯を推進する条例
38	島根県	邑南町	邑南町地酒による乾杯を推進する条例
39		津和野町	津和野町地酒で乾杯を推進する条例
40	徳島県	三好市	三好市地酒で乾杯を推進する条例
41	佐賀県	鹿島市	鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例
42		佐賀県	佐賀県日本酒で乾杯を推進する条例
43		西松浦郡有田町	有田焼の酒器による乾杯を促進する条例
44	長崎県	波佐見町	乾杯に特産陶磁器の杯の使用を促す条例
45		志岐市	志岐焼による乾杯を推進する条例
46	熊本県	球磨郡多良木町	多良木町焼酎による乾杯を推進する条例
47	宮崎県	日南市	日南市の地元本格焼酎による乾杯を推進する条例
48	鹿児島県	いちき串木野市	いちき串木野市本格焼酎による乾杯を推進する条例
49		奄美市	奄美市黒糖焼酎による乾杯を推進する条例
50		鹿児島県	かごしま本格焼酎の産業振興と焼酎文化でおもてなし県民条例

全国に広がる 乾杯条例

乾杯条例は、平成24年12月、「清酒の普及の促進に関する条例」として全国に先駆け京都市で制定施行されました。その後、全国各地に広がり、表のように平成26年2月末にはすでに50自治体で施行されています。

現在も、茨城県では3月19日に水戸市、3月20日に石岡市、新潟県糸魚川市では24日に「乾杯宣言」を発令。熊本県人吉市では25日に条例案を議会提出と、乾杯条例制定の勢いはまだまだ続いています。

講演 酒パック・アルミ付紙パックリサイクルの歩み



印刷工業会液体カートン部会・環境委員会委員長 横尾氏

印刷工業会会報 vol.111(2014年1月発行)に特集「アルミ付紙パックリサイクルの歩みと印刷工業会」が掲載されました。東京会議ではその内容をもとに講演が行われました。

印刷工業会会報vol.111(2014年1月発行)



アルミ付紙パックリサイクルの歩みと印刷工業会(補足資料)

広報部会報告

部会長 中尾雅幸



調査部会報告

部会長 國弘武嗣



貸出用 紙管パネルについて

◆紙管パネルの利用事例

①第20回ロハスフェスタ in万博公園
2013年11月2日(土)～4日(祝)

宝酒造ブースへの推定来場者数は、約3,400名。※ロハスフェスタ in万博公園は、関西最大級の環境イベントで、今回は3日間で65,529名の来場がありました。



マーク制定から現在までに、会員企業で制作された酒パック再生品は、約50品目にのぼります。前回の酒パックスリサイクル促進協議会(2013年10月17日)以降、リサイクルマークを付けた再生品としては、左記のものがありません(新規製作または追加製作)。

- 月桂冠祝米 大吟醸 720ml 一本箱 1.8ℓ用カートン
- エコプロダクツ2013 出展ブース・ディスプレイ一式
- オリジナル貯金箱 (霧島酒造・三和酒類・白鶴酒造・月桂冠)

「酒・アルミ付紙パックリサイクルマーク」再生品について

大関・エコ酒屋 灘地区循環システム

大関・エコ酒屋(業務用天パット等)
白鶴酒造・小西酒造・大関 5社13アイテム

●宝酒造 紙管パネル
●日本酒造組合中央会 お酒コーナー看板

広報活動について

酒パックスリサイクル促進協便りVol.8を11月に発行しました。また2014年6月に開催される日本酒造組合中央会主催の「日本酒フェア」で、酒パックスリサイクルの活動について、情報発信する予定です。

2013年度酒パックスリサイクルに関するアンケート調査結果(中間報告)

アンケート期間2013年1月～12月

調査部会では、2008年から引き続き、2013年の酒パックスリサイクルに関する酒造メーカー実態調査を行い、次の内容が明らかになりました。

酒促進協会員23社の使用量およびリサイクル率

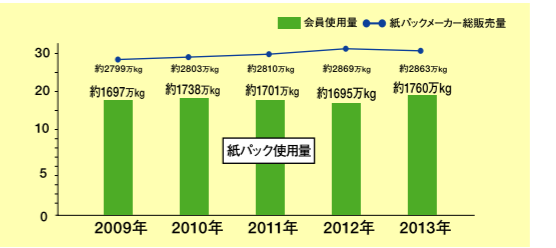
●仕様別使用量
●アルミ付176,283,80本 (10,409,512kg)
●アルミ無106,251,971本 (7,199,040kg)

●リサイクル率
●アルミ付 73.5%
●アルミ無 55.3%

●カバラー率 2013年度会員
●61.5%

●全国で流通する酒パックス総量
●282,535,773本 (17,608,552kg)

●回収率
●約2799万kg
●約2803万kg
●約2810万kg
●約2869万kg
●約2863万kg



灘伏見酒パック循環システム

灘伏見地区の工場損紙回収システムは、平成20年にスタートしその後順調に機能しています。再生品の使用についても、灘地区に於いては業務用消耗品の天パットはほぼレギュラー化しており、灘の生一本共通カートンも2年連続して、酒パック再生紙を使用。伏見地区を含め各社のノベルティなどにも活用の範囲が、徐々に広がってきています。

	メンバー	平成24年4月～平成25年3月	当初からの累計
灘地区	白鶴酒造/富久娘酒造/日本盛酒造/大関/菊正宗酒造/沢の鶴酒造/辰馬本家酒造/小西酒造/関西ポトリング	67,285kg	560,620kg
伏見地区	月桂冠/宝酒造/黄桜/伏見清酒/バック協同組合(北川本家・齋藤酒造・招徳酒造・玉乃光酒造・鶴正酒造・豊澤本店・都錦酒造・山本助蔵商店・山本本店)	33,140kg	266,000kg

最新 情報ツール制作へ4種類

印刷工業会と集めて使うリサイクル協会が推進しています。「アルミ付紙パックリサイクルプロジェクト」では、前述しましたエコプロダクツ展ほか様々な機会をとらえてチラシ・リーフレットの配布による情報発信を行っています。従来から使用していましたが、リーフレット類をリニューアルし、下記4種類の情報ツールを新たに制作いたしました。

●エコ酒造募集リーフレット(役割・意義等) A3二つ折り
●エコ酒造顧客向けチラシ A4表裏
●エコ酒造出展ブース情報 A3二つ折り
●エコ酒造出展ブース情報 A3二つ折り

エコプロダクツ2013

とき12月12日(木)～14日(土) ところ 東京ビッグサイト

集めて使うリサイクル協会と印刷工業会の共同出展ブースとして、例年通り2小間スペースで酒パック・アルミ付紙パックのリサイクルプロジェクトについて情報発信を行いました。2002年から毎年出展しており、今年で12回目の出展ですが、酒パック・アルミ付紙パックのリサイクルを訴求

する唯一のブースとして情報発信、認知を広げています。酒パックリサイクル促進協議会の活動については、パネル展示および酒造各社のご協力により商品パッケージを展示しました。毎年欠かさず来場しているという市民も多く、今回も毎年各社の酒パック貯金箱を一つずつ増やしていったという女性が現れたり、ここなら出せるかと思つてと切り開いたアルミ付紙パックを持つてこられた女性もいました。



開催3日間の総来場者数 **169,076人** (主催者発表)



3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
参加26団体 39名	3月5日 京都 宝酒造 ◆広報部会打合せ	2月21日 大阪 酒促進協議会委員会 酒造メーカーアンケート調査票発送 於エールおさか	12月26日 東京 宝酒造 ◆広報部会打合せ	11月20日 東京 宝酒造 ◆広報部会打合せ	10月18日 広島 見学会 酒促進協議会 ◆協賛企業 ◆協賛企業 ◆協賛企業	9月13日 東京 宝酒造 ◆協賛企業 ◆協賛企業 ◆協賛企業	8月27日 京都 宝酒造 ◆協賛企業 ◆協賛企業 ◆協賛企業	7月26日 岡山 平喜酒造 ◆協賛企業 ◆協賛企業 ◆協賛企業

年間活動記録

4月	5月	6月	7月
4月18日 兵庫 生活協同組合コープこうべ ◆アルミ付紙パックに関する意見交換 リサイクルロードshow	5月15日 京都 宝酒造 ◆広報部会打合せ	6月14日 大阪 日本酒フェア展示 酒促進協議会 ◆協賛企業 ◆協賛企業	7月26日 岡山 平喜酒造 ◆協賛企業 ◆協賛企業 ◆協賛企業